

金屋地区

地区公民館を老若男女の集う憩いの場に

かがやけ金屋人では、7月24日(日)、金屋地区公民館一帯で「金屋公民館へ行こう!」を開催。これは、地域の目指すべき姿を話し合う中で見えてきた「地域内に楽しい場所をつくり、区民の絆を深める」取り組みの実践として試行した事業です。区民から寄せられた新鮮野菜やリユース品の販売、子どもたちへの学習支援、防犯講座、金屋城跡の講演など、子どもから大人までが「公民館に集まる」きっかけを実施しました。金屋地区では、「地区公民館が老若男女の集う憩いの場になったらいいな」の実現に向けて、地域が少しずつ動き出しています。



新鮮な野菜がたくさん並びました

四辻地区

ホームページで四辻の今・むかしを発信



四辻区HP

区内の掲示板や区民だより、フェイスブックを活用して積極的な情報発信に取り組んできた四辻区(広報よさのNo.193参照)。そして今年度、区公式ホームページ(<https://yosano-yotutujiku.com/>)を開設しました。区の歴史、区関連団体の活動や地域情報、公民館講座情報など60年あまりの自治会活動のデータから最新の情報までを掲載し、区内外の皆さんへ四辻の今・むかしを発信しています。ホームページが「四辻区を身近に感じられる、離れていても故郷に思いを寄せられる、つながれる場になったらいいな」の実現に向けて、これからも充実したホームページづくりを進めていきます。



四辻区のホームページ(スマートフォン版)

丹後地域パートナーシップミーティング 丹後つながる会議

9月16日(金)、クロスワークセンター宮津において、丹後地域パートナーシップミーティング「丹後つながる会議」が開催され、丹後エリアで活動中の5団体が集まり、団体紹介や意見交換を行いました。与謝野町からは、三河内の将来像を考える会と100年暮らしが繋がる地域づくり推進委員会、

まもりっこの3団体が参加。それぞれの活動を通じた課題や悩み、今後の展望などを参加者同士で話し合い、新たな出会いやつながり、活動へのヒントやアイデアを得る場となりました。



アイデアや意見を出し合う参加者の皆さん

できることからはじめよう! 動き出す地域(金屋・四辻地区)

協働のまちづくり調査事業では、地域の現状と課題を共有し、地域課題の改善・解決に向けた検討や話し合いを重ねてきました。「こんな地域になったらいいな(地域の「みらい」)をやってみる、体験してみる試みが、少しずつ始まっています。」

協働のまちづくり 5



●第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 書道部門(京都府代表) 特別賞受賞

まつせ かほ 松瀬 夏帆さん(加悦谷学舎3年・橋立中出身)



2年連続で総合文化祭に選出となった松瀬さんは「不安だったが、やるだけやってみようと思い制作しました」と当時の心境を話します。作品は、応援してくれた家族・友達・部員の期待にこたえたいとの思いで、自分と向き合い約1週間かけて制作。作品が入賞を果たし「本当に私が入賞したのかと思いました」と喜びを話してくれました。

●第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 書道部門(京都府代表)

はしね るい 橋根 琉伊さん(宮津学舎3年・江陽中出身)



自身の実力を作品にすべて発揮することを目標に努力してきた結果が総合文化祭選出につながり「純粋にうれしかった」と橋根さん。出品した作品は、高校に入学してから挑戦した「かな」という書体を用いたもので、先生や先輩からアドバイスを受けながら何度も何度も練習を重ね「高校での書道のすべてを詰め込む思いで制作した作品です」と振り返ってくれました。

7月31日から5日間、東京都で開催された「第46回全国高等学校総合文化祭東京大会」。宮津高校加悦谷学舎の松瀬夏帆さんと宮津学舎の橋根琉伊さんが書道部門に、宮津学舎の中村風沙さんが写真部門に京都府代表として作品を出品しました。全国各地からハイレベルな作品が出品される中、松瀬さんの作品は審査の結果、300作品の中から見事「特別賞」を受賞しました。

悲願

●第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 写真部門(京都府代表)

なかむら なぎさ 中村 風沙さん(宮津学舎2年・江陽中出身)



「高校の写真部に入部するまで、カメラで撮影した作品を作ったことがなかった」と中村さん。出品した作品は自身初作品で、自身の名前の由来である「海」と祖父の家の「舟屋」「船」を撮影し、思い入れのある作品と話します。初の総合文化祭は「全国から選出された作品を見て、さまざまな技術や感性に触れることができました」と振り返ってくれました。

●第41回近畿中学校総合体育大会 陸上競技大会 男子砲丸投げ 8位入賞

こいけ りく 小池 陸さん(江陽中3年)



「自己ベストの更新を目指して日々練習してきました」と小池さん。京都府大会で1位となり迎えた初の近畿大会では、緊張する中でも日ごろの練習を意識した投てきで見事自己ベストを更新する12m60cmを記録。今後は「大会では強豪選手からコツを教わることができた。高校でも競技を続けて全国大会に出場して、入賞を目指したい」と話してくれました。

学校総合体育大会陸上大会に江陽中学校の小池陸さんが出場。初の近畿大会の舞台では、堂々とした試技を見せてくれました。

初の舞台

8月7日から2日間、奈良県で開催された「第41回近畿中学校」

今月号では、近畿・全国の舞台で活躍した11人の生徒を紹介しました。広報よさのでは、引き続き近畿や全国、そして世界の舞台で活躍する児童・生徒たちを紹介していきますので、ぜひ情報をお寄せください。

<問い合わせ先>

企画財政課
☎43-9015
✉kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp